

地区 番号					単位区 番 号					世帯 番号					世帯員 番 号					確認欄	
----------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--	----------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--	-----	--

秘

公的年金加入状況等調査調査票

●● 調査のご協力のお願い ●●

- この調査は、国民年金・厚生年金・共済年金(まとめて「公的年金」といいます)の加入状況等について、全国から無作為抽出により選ばれた世帯(約9万世帯)を対象として実施するものです。
- お答えいただいた内容は、統計資料の作成以外に使用することは法律で禁じられており、例えば保険料や税金の徴収などに使用されることはありませんので、ご安心してありのままをお答えください。
- この調査は、より詳しい統計資料を作成するため、厚生労働省が既に実施した「国民生活基礎調査」の調査地区から対象世帯を選ぶ方法をとっております。したがって、繰り返しの調査のお願いとなってしまいますが、今後の年金事業の運営や年金制度の議論に必要不可欠な資料となりますので、ご協力をお願いいたします。
- なお、この調査の精度を高めるため、あなたの納付記録などと組み合わせて統計分析することがありますが、個人の情報は統計資料の作成以外に使用することは絶対にありませんので、ご安心ください。

●● ご回答の方法 ●●

- 平成22年11月30日時点で15歳以上の方のみお答えください。
- 世帯員一人ごとにそれぞれ調査票を記入してください。
- 問1から問6までは現在(平成22年11月30日時点)の状況を、問7から問13までは昨年(平成21年11月30日時点)の状況を、問14から問16-1まではおとし(平成20年11月30日時点)の状況についてお答えください。
- 当てはまる番号・記号に○(問17については最も主要なものには◎)をつけてください。その他所要の箇所に文字・数字を記入してください。

《 問1から問6までは現在(平成22年11月30日時点)の状況をお答えください。 》

現在のあなたの在学状況と就業状況(アルバイト等を含みます)についてお伺いします。

(問1) あなたは現在、学生[※]ですか。当てはまる番号に○をつけてください。

はい	1	いいえ	2
----	---	-----	---

※ 学生には専修学校及び各種学校の学生も含みます。

(問2) あなたの就業形態について、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

「3」と答えた方は、さらにその形態について、記号に○をつけてください。

(学生の方もご回答ください)

自営業主(個人経営の店主や農業主など)	1	「3」を選択された方 →	フルタイム ^{※2}	a
家族従業者(自営業主の手伝い)	2		フルタイムでない	b
会社員 ^{※1} (会社役員を含みます)、公務員	3			
臨時・不定期のパート・アルバイトや内職など	4	「5」を選択された方 →		
特に働いていない	5		問5へ	

※1 会社員には、パート・アルバイトなどの正社員以外の方のうち、臨時・不定期でない働き方をしている方を含みます。

※2 フルタイムとは、1日の所定労働時間と1か月の所定労働日数が、一般社員と同程度であることを言います。

【問2で「3」と答えた方のみお答えください】

(問2-1) 1月あたりの労働日数、1週間あたりの労働時間はおよそどれくらいですか。
それぞれおおむねの日数、時間について当てはまる番号に○をつけてください。

(1) 月あたり	1～5日	1	6～10日	2	11～15日	3	16～20日	4	21日以上	5
(2) 週あたり	10時間未満	1	10～15時間未満	2	15～20時間未満	3	20～25時間未満	4		
	25～30時間未満	5	30～35時間未満	6	35～40時間未満	7	40時間以上	8		

(問3) あなたの勤務先や経営する店・事業などについて、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

農林水産業	1	鉱業、採石業、砂利採取業	2	建設業	3
製造業	4	電気・ガス・熱供給・水道業	5	情報通信業	6
運輸業、郵便業	7	卸売・小売業	8	金融・保険業	9
不動産業、物品賃貸業	10	学術研究、専門・技術サービス業	11	飲食店・宿泊業	12
生活関連サービス業、娯楽業	13	教育・学習支援業	14	医療・福祉	15
複合サービス事業	16	職業紹介・労働者派遣業	17	その他の対事業所サービス業	18
修理業	19	廃棄物処理業	20	政治・経済・文化団体	21
その他のサービス業	22	公務	23		

(問4) あなたの勤務先の事業所（派遣社員の場合は派遣元の事業所）や経営する店・事業などについて、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

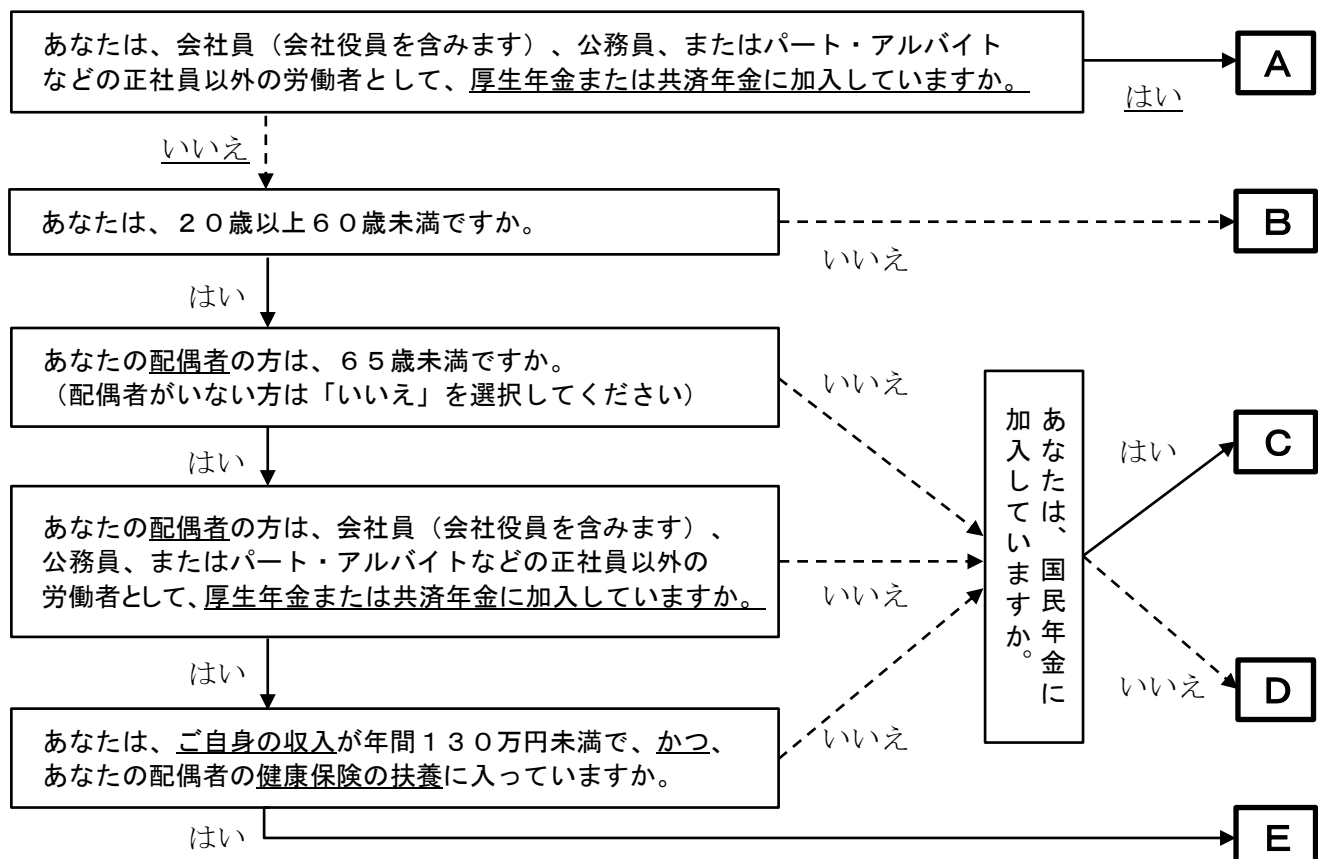
法人	1
法人でない（正社員5人未満）	2
法人でない（正社員5人以上）	3
国・地方公共団体	4

現在のあなたの公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）の加入状況をお伺いします。

(問5) 現在70歳未満である方に、年金の加入状況についてお伺いいたします。

次のフローチャートをたどっていただき、当てはまるアルファベットに○をつけてください。

（それぞれ、現在（平成22年11月30日時点）の状況について選んでください）



現在の公的給付などの受給状況についてお伺いします。

(問6) 現在、公的給付を受けていますか。当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

「1」を受けている場合は、さらにその種類についても、記号に○をつけてください。

公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）	1
失業保険（基本手当）	2
生活保護	3
労働災害補償法に基づく障害補償給付（年金）・遺族補償給付（年金）	4
児童扶養手当（注）子ども手当ではありません。	5
その他	6
なにも受けていない	7

「1」を選択
された方

老齢年金	a
障害年金	b
遺族年金	c

《 問7から問13までは昨年（平成21年11月30日時点）の状況をお答えください。 》

(問7) 昨年（平成21年11月30日時点）の状況は、現在の状況（問1から問6までのお答え）と同じ状況でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

全て同じ状況だった	1	→ 問14へ
同じでない状況もあった	2	→ 次の問8へ

昨年の在学状況と就業状況（アルバイト等を含みます）についてお伺いします。

(問8) あなたは昨年、学生^{*}でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

はい	1	いいえ	2
----	---	-----	---

※ 学生には専修学校及び各種学校の学生も含みます。

(問9) あなたの昨年の就業形態について、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「3」と答えた方は、さらにその形態について、記号に○をつけてください。

(学生だった方もご回答ください)

自営業主（個人経営の店主や農業主など）	1
家族従業者（自営業主の手伝い）	2
会社員 ^{*1} （会社役員を含みます）、公務員	3
臨時・不定期のパート・アルバイトや内職など	4
特に働いていなかった	5

「3」を選択
された方

フルタイム ^{*2}	a
フルタイムでない	b

「5」を選択された方

→ 問12へ

※1 会社員には、パート・アルバイトなどの正社員以外の方のうち、臨時・不定期でない働き方をしていた方を含みます。

※2 フルタイムとは、1日の所定労働時間と1か月の所定労働日数が、一般社員と同程度であることを言います。

【問9で「3」と答えた方のみお答えください】

(問9-1) 1月あたりの労働日数、1週間あたりの労働時間はおおよそどれくらいでしたか。それぞれおおむねの日数、時間について当てはまる番号に○をつけてください。

(1) 月あたり	1～5日	1	6～10日	2	11～15日	3	16～20日	4	21日以上	5
----------	------	---	-------	---	--------	---	--------	---	-------	---

(2) 週あたり	10時間未満	1	10～15時間未満	2	15～20時間未満	3	20～25時間未満	4
	25～30時間未満	5	30～35時間未満	6	35～40時間未満	7	40時間以上	8

(問10) あなたの昨年の勤務先や経営していた店・事業などについて、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

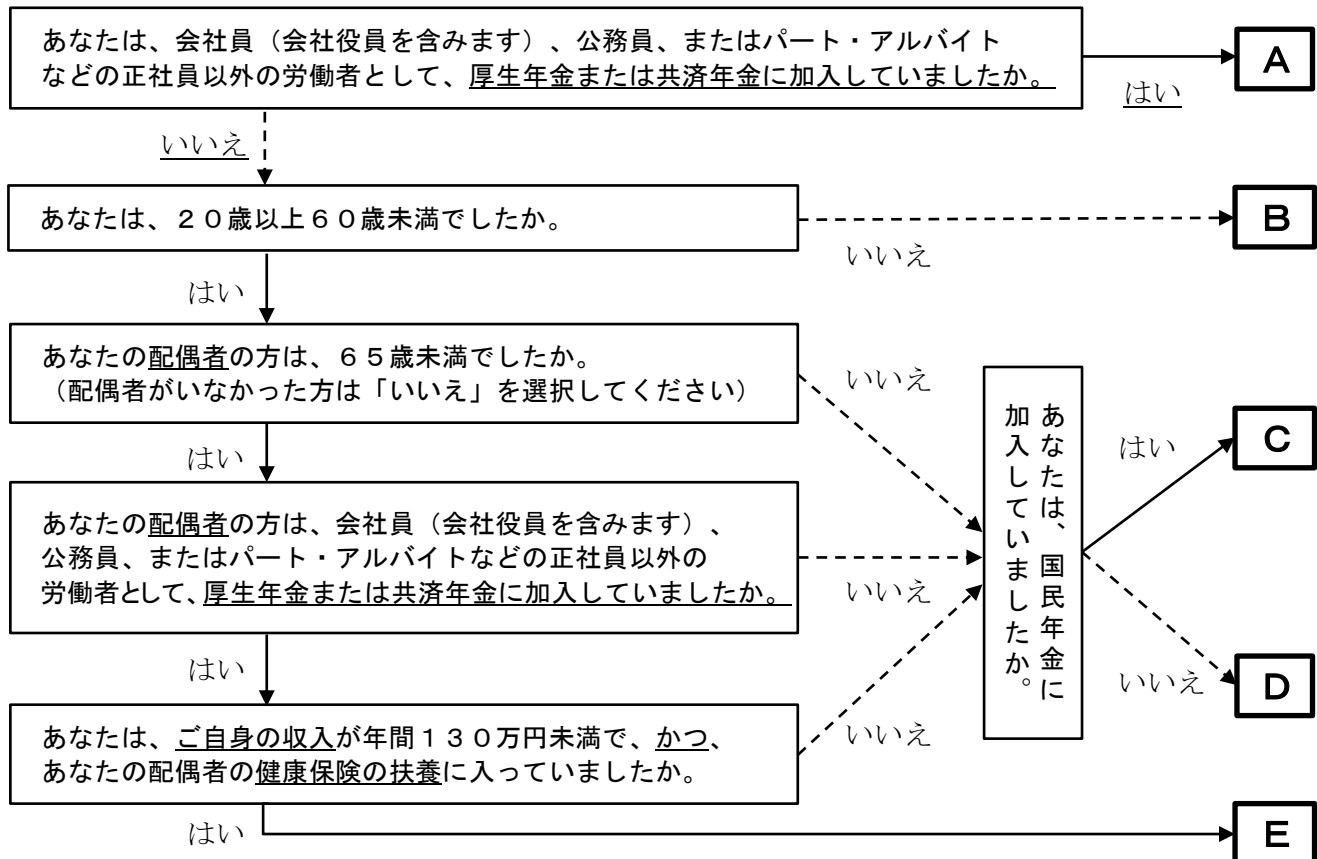
農林水産業	1	鉱業、採石業、砂利採取業	2	建設業	3
製造業	4	電気・ガス・熱供給・水道業	5	情報通信業	6
運輸業、郵便業	7	卸売・小売業	8	金融・保険業	9
不動産業、物品賃貸業	10	学術研究、専門・技術サービス業	11	飲食店・宿泊業	12
生活関連サービス業、娯楽業	13	教育・学習支援業	14	医療・福祉	15
複合サービス事業	16	職業紹介・労働者派遣業	17	その他の対事業所サービス業	18
修理業	19	廃棄物処理業	20	政治・経済・文化団体	21
その他のサービス業	22	公務	23		

(問11) あなたの昨年の勤務先の事業所（派遣社員の場合は派遣元の事業所）や経営していた店・事業などについて、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

法人	1
法人でない（正社員5人未満）	2
法人でない（正社員5人以上）	3
国・地方公共団体	4

昨年のあなたの公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）の加入状況をお伺いします。

(問12) 昨年の11月30日時点で70歳未満であった方に、年金の加入状況についてお伺いいたします。次のフローチャートをたどっていただき、当てはまるアルファベットに○をつけてください。（それぞれ、昨年（平成21年11月30日時点）の状況について選んでください）



昨年の公的給付などの受給状況についてお伺いします。

(問13) 昨年の11月30日時点で公的給付を受けていましたか。当てはまるものすべての番号に○をつけてください。「1」を受けていた場合は、さらにその種類についても、記号に○をつけてください。

公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）	1	「1」を選択された方	老齢年金	a
失業保険（基本手当）	2		障害年金	b
生活保護	3		遺族年金	c
労働災害補償法に基づく障害補償給付（年金）・遺族補償給付（年金）	4			
児童扶養手当（注）子ども手当ではありません。	5			
その他	6			
なにも受けていなかった	7			

《 問14から問16－1まではおとし（平成20年11月30日時点）の状況をお答えください。 》

（問14）おとし（平成20年11月30日時点）の状況は、現在の状況（問1から問2－1までのお答え）または昨年の状況（問8から問9－1までのお答え）と同じ状況でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

現在の状況と全く同じ状況だった	1	→ 問17へ
現在の状況とは違うが、昨年の状況と全く同じ状況だった	2	
どちらの状況とも違った	3	→ 次の問15へ

※ おとしから現在まで全く同じ状況である場合も「1」に○を付けてください。

おとしの在学状況と就業状況（アルバイト等を含みます）についてお伺いします。

（問15）あなたはおとし、学生[※]でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

はい	1	いいえ	2	※ 学生には専修学校及び各種学校の学生も含みます。
----	---	-----	---	---------------------------

（問16）あなたのおとしの就業形態について、当てはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「3」と答えた方は、さらに形態について記号に○をつけてください。

（学生だった方もご回答ください）

自営業主（個人経営の店主や農業主など）	1	「3」を選択された方 →	フルタイム ^{※2}	a
家族従業者（自営業主の手伝い）	2		フルタイムでない	b
会社員 ^{※1} （会社役員を含みます）、公務員	3			
臨時・不定期のパート・アルバイトや内職など	4			
特に働いていなかった	5			

※1 会社員には、パート・アルバイトなどの正社員以外の方のうち、臨時・不定期でない働き方をしていた方を含みます。

※2 フルタイムとは、1日の所定労働時間と1か月の所定労働日数が、一般社員と同程度であることを言います。

【問16で「3」と答えた方のみお答えください】

（問16－1）1月あたりの労働日数、1週間あたりの労働時間はおおよどれくらいでしたか。

それぞれおおむねの日数、時間について当てはまる番号に○をつけてください。

(1) 月あたり	1～5日	1	6～10日	2	11～15日	3	16～20日	4	21日以上	5
----------	------	---	-------	---	--------	---	--------	---	-------	---

(2) 週あたり	10時間未満	1	10～15時間未満	2	15～20時間未満	3	20～25時間未満	4
	25～30時間未満	5	30～35時間未満	6	35～40時間未満	7	40時間以上	8

《 問17以降では、再び現在（平成22年11月30日時点）の状況についてお答えください。 》

老後の生活設計及び公的年金についてお伺いします。

（問17）老後（おおむね65歳以後の生活）を過ごすためにどのような収入を考えていますか。

特に見込んでいるものを最大3つまで選び、最も主要なものには◎、その他には○をつけてください。

公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）	1	貯蓄・退職金の取り崩し	2
資産の運用（株式投資・アパート経営等）	3	個人年金（民間保険会社・郵便局等）	4
企業年金（厚生年金基金等）	5	国民年金基金・個人型の確定拠出年金	6
自分で働く	7	配偶者や子供に期待	8
生活保護	9	考えていない	10

（問18）まだ年金を受給していない方にお伺いいたします。将来、あなたが受け取れる老後の年金の見込み額についてご存じですか。

知っている	1	知らない	2
-------	---	------	---

(問19) 過去3年程度の間にご自身の年金記録をご確認されたことがありますか。

ある	1	ない	2
----	---	----	---

【問19で「1」と答えた方のみお答えください】

(問19-1) 年金記録を確認されたきっかけは何でしたか。次の中から最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

記録問題の報道を見聞きして	1
ねんきん特別便やねんきん定期便等の通知を見て	2
周囲から記録を確認するように勧めがあった	3
受給年齢に達したなど、年金手続きのため年金事務所を訪問して	4

(問20) 年金記録問題の対応としてこれまで行われてきた取組みについて、ご存じのものを選んで、番号に○をつけてください。(いくつでも可)

ねんきん特別便(平成19年12月から20年10月まで送付)	1
ねんきん定期便(平成21年4月から毎年誕生日に送付)	2
名寄せ特別便の確認調査への市区町村の協力 〔「名寄せ特別便」とは、ご本人様の記録である可能性の高い記録をお持ちの皆様にお送りしたもので、未回答の方の調査に多くの市区町村のご協力をいただいております。〕	3
年金事務所で速やかに年金記録を回復するための回復基準の設定 〔年金記録が見つからず回復を希望される方を年金事務所で速やかに救済できるようにするための要件づくりを進めています。(平成21年12月、平成22年4月に設定)〕	4
年金を受給できる可能性がある未受給の方へのお知らせの送付 〔オンライン上で確認できる年金記録では受給資格期間を満たさない方に対して、カラ期間の有無についての注意喚起や任意加入制度の周知を図っています。(平成21年12月に送付)〕	5
受給者等への標準報酬等のお知らせ 〔厚生年金受給者の方等に対して、標準報酬月額及び資格期間に漏れや誤りがないかをご本人に確認していただくために現役の時の標準報酬月額等をお知らせをしている通知です。(平成21年12月から送付)〕	6
再裁定の申請から年金をお支払いするまでの期間を短縮 〔「再裁定」とは、年金記録が見つかった方からの申請に基づき、年金を再計算する処理のことを言います。〕	7
紙台帳とコンピュータ記録の突合わせ(平成22年10月実施)	8
年金記録の回復により5年以上遅れて支払われる年金への物価上昇分の上乗せ(平成22年4月実施)	9
インターネットによる年金記録の照会	10

(問21) 現在、平成25年に向けて新しい年金制度改革の検討が行われていることについてご存じですか。

知っている	1	知らない	2
-------	---	------	---

最後に、ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身とあなたの世帯のことについてお伺いします。

(F1) あなたの性別

男	1	女	2
---	---	---	---

(F2) あなたの生年月

明治	1	大正	2	昭和	3	平成	4
----	---	----	---	----	---	----	---

 年 月 生まれ

(F3) あなたの国籍

日本	1	中国	2	韓国又は北朝鮮	3	ブラジル	4
フィリピン	5	ペルー	6	米国	7	その他()	8

(F 4) 世帯主からみたあなたの続柄

本人	1	配偶者	2	父母	3	配偶者の父母	4
祖父母	5	配偶者の祖父母	6	子	7	孫	8
兄弟姉妹	9	配偶者の兄弟姉妹	10	その他	11		

(F 5) あなたの配偶の関係

配偶者あり	1	この世帯にいる この世帯にはいない	a b	→ 配偶者の世帯員番号	:
配偶者なし	2				

※該当する世帯員の方が回答された調査票の1ページ目左上に記載されている「世帯員番号」をご記入ください。

(F 6) あなたのお子様について（お孫さん、甥、姪は含みません）

あなたまたはあなたの配偶者が扶養しているお子様はいらっしゃいますか。

いる	1	いない	2
----	---	-----	---

【F 6で「1」と答えた方のみお答えください。】

(F 6-1)

あなたまたはあなたの配偶者が扶養しているお子様について、以下の表の上欄に記載された年齢に該当するお子様の人数を表の下欄にご記入ください。

（表の年齢は平成22年11月30日時点の満年齢です）

お子様の年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24以上
人数																									

(F 7) あなたのお住まいについて

持ち家（ご家族の持ち家を含みます）	1
民間賃貸住宅	2
社宅・公務員住宅等の給与住宅（寮）	3
都市再生機構・公社等の賃貸住宅	4
地方公共団体の公営住宅	5
借間・その他	6

(F 8) あなたのご氏名

※ この氏名は、ご回答内容に不明な点がある場合などに確認させていただくため、念のためご記入いただくものであり、他の目的に使用されることは絶対にありません。この調査票が厚生労働省や日本年金機構本部へ返送される際は、氏名の部分は切り離されます。

（調査員が確認後、切り離します）

フリガナ	
氏 名	

ご協力ありがとうございました。